

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称	
494	健康教育事業(負担金分)	会計	01	一般会計		
		款	04	衛生費		
基本施策	1	10万市民の健康を維持する	項	01	保健衛生費	
			目	01	保健衛生総務費	
担当部課名	青山健康福祉課		細目	102	保健事業	
作成者氏名	奥田充法	連絡先	52-3228	細々目	01	健康教育事業(負担金分)

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
事業の目的	青山支所管内の40歳以上の市民。	健康づくりに取り組む意欲の向上することにより、実践が図れ、地域での健康づくりに取り組む人が増えている。					
本年度事業内容	<p>疾病予防、介護予防、健康増進を図ることを目的として、健康づくりに関する教室を開催し健康教育を実施している。自らの健康は自ら創るという認識と自覚の高揚を図るために、健康教室は必要であり、疾病の早期発見・早期治療の観点から気軽に健康状態を把握できる場の設定は不可欠である。</p> <p>健康教室として、「肥満予防教室」「はつらつ教室」等や地域の各種団体から依頼を受けて実施した。</p>						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	老人保健法

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	2	2	2
	人件費合計(A)	14,400	14,400	14,400
②支出内訳(千円)	事業費(B)	191	261	261
	委託料			
	その他	191	261	261
	合計(A+B)	14,591	14,661	14,661
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	133	174	174
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	15	87	87	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
病態別健康教育	人	253	250	250			
一般健康教育	人	240	240	240			
肥満予防教室	回	12	16	16			
はつらつ教室	回	7	20	20			
病態別健康教育	回	24	24	24			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
健康教室延参加者	健康に関心が高く知識を得て実践したいと考えているひとがどのくらいいるのか判断する	人	240 目標 (240)	240	240
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

健康に関する情報は氾濫しているが、なかなか自らの健康観を改善するまでとはならないが、健康教育の参加が自己管理の動機づけとなっているが、このことを継続して行ける環境づくりが大切であるため、出前講座の開催をはじめ今後検討する必要がある。
--

評価	必要性	4	健康づくりに取り組む意欲の向上や実践が図られるよう、事業実施を行うことで地域や各種団体における健康づくりの推進となる	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		